

学校教育目標	すこやかな心と体を願って・・・ (1)互いを認め合い、自らの生き方を切り拓く力を育てます。 (2)社会のきまりを大切に、責任をもって行動する姿勢を育てます。 (3)進んで課題を見つけ、よりよく解決する力を育てます。				
	学校概要	創立 42 周年	学校長 遠藤 まり	副校長 井桁 寛	3 学期制
児童生徒数: 447 人		主な関係校: 羽沢小学校 菅田小学校 池上小学校			

教育課程全体で育成を目指す資質・能力	菅田中ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
自分で考え、判断し、行動する力	菅田中学校 羽沢小学校 菅田小学校 池上小学校	<ul style="list-style-type: none"> 〈習得した知識を活用して課題解決できる子〉 〈互いに表現し合い、自分の考えを深める子〉 〈自ら行動し、粘り強く取り組む子〉 ○小中の連携を深め、授業参観を通じて互いに授業力の向上を目指す。 ○小中職員が一同に会する合同研修会の設定。 ○「9年間で育てる子ども像」を見据えた教育課程の編成。

中期取組目標	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒一人ひとりが生き生きとした学校生活を過ごすよう、教職員が組織的・重層的に指導を進めます。 ・教師が常に授業改善に努め、他と協働し、正しく考え、判断し、行動する力を伸ばす授業を実践します。 ・併設型小中一貫校の強みを生かし、英語の乗り入れや教育課程の編成等を通して組織的・計画的・継続的にブロック内の小学校と共に9年間で育てる子どもの育成をめざします。 ・社会の一員として人とのつながりを重視し、自分も他人も大切にすると地域や社会と積極的に関わろうとする生徒の育成を図ります。 ・学習状況調査結果をもとに学習のつまづきを分析し、学習方法の改善と学習習慣の定着を図ります。
---------------	---

重点取組分野	具体的取組
確かな学力	①身に付けたい力を授業者と生徒が共有する授業を展開する。②他の意見を受容し、他と協働しながら課題を解決する学習を進める。③少人数授業を実施し、個に応じた指導の充実を図る。 ④家庭学習の機会を増やし、進んで学習する習慣を身に付けさせる。
担当 学習指導部	
豊かな心	①授業力の向上及びより良い授業の展開を目標に各学年で指導案作成を継続し授業を行う。 ②読書の習慣を定着させ、豊かな情操育成を図るため、年間20日程度設定の目標を継続する。 ③定期的な「あいさつ運動」を継続させ、相互の円滑な人間関係の構築に努める。
担当 道徳係	
健やかな体	①自己の体力の現状を自覚し、運動が心に与えるよい効果を実感するとともに、進んで課題を見つけ、体力の向上、健康の増進に生かす。 ②体育の授業前のランニングや筋力トレーニングを継続し、基礎体力の向上を図る。 ③家庭科における食教育など保健体育以外の教科との関連を図り、健康について関心を高める。
担当 体育科	
学校運営協議会	①ブロック各校での協議会で、協議する内容を事前に示し、意見交換がスムーズに進むようにする。 ②ブロック各校の課題の周知と、学校と地域に求める役割を明確にする。 ③ブロックの取り組みを分かりやすく地域の方々に発信し、理解してもらう。
担当 小中併設運営委員会	
キャリア教育	①「礎」などを活用し夢の実現や進路設計を考える。 ②自己の個性や特色をつかみ伸ばすことのできる進路を高校調べなどをして見つける。
担当 特活指導部	
児童・生徒指導	①菅田中ブロックで策定したスタンダードを実践する。 ②関係機関との連携に努め、保護者・家庭と協働した指導を図る。 ③人権尊重を基盤としたいじめ・暴力を否定する学校風土の醸成のため、生徒会活動を推進する。
担当 生徒指導部	
特別支援教育	①特別支援を必要とする生徒の情報収集し、月1回の委員会で情報共有、具体的・効果的な指導支援方法の検討を行う。 ②全職員対象の校内研修を年1回以上行う。 ③キャバツルームを設置し全職員で対応する。
担当 特別支援委員会	
安全教育	①年3回避難訓練(1回目は学級で)を実施し、職員の初動対応と生徒の避難経路・方法の確認する。 ②地区名簿を作成し、生徒の拠点校と地区班を確認する。 ③『防災デイ(防災学習・避難訓練・防災スクール・地域拠点校訓練)を通して、関係機関、小学校、地域と連携して防災意識を高める。④随時情報を収集し、感染症対策を職員・生徒に周知する。
担当 保健安全指導部	
いじめへの対応	①二者または三者面談を定期的実施する。 ②生徒への信頼関係作りのために教育相談についてのアンケートを実施する。 ③学習相談など、あらゆる機会を利用して、生徒の状況把握に努める。
担当 いじめ対策校内委員会	
人材育成・組織運営(働き方改革)	①メンターチーム研修会を定期的実施(年7回)初任6年目まで+主幹 ②年間2回の校内授業公開 ③ICT教育の推進と研修の実施 ④グループウェアの積極的活用 ⑤職員全員で考える業務改善の推進
担当 OJT推進委員会・管理職	